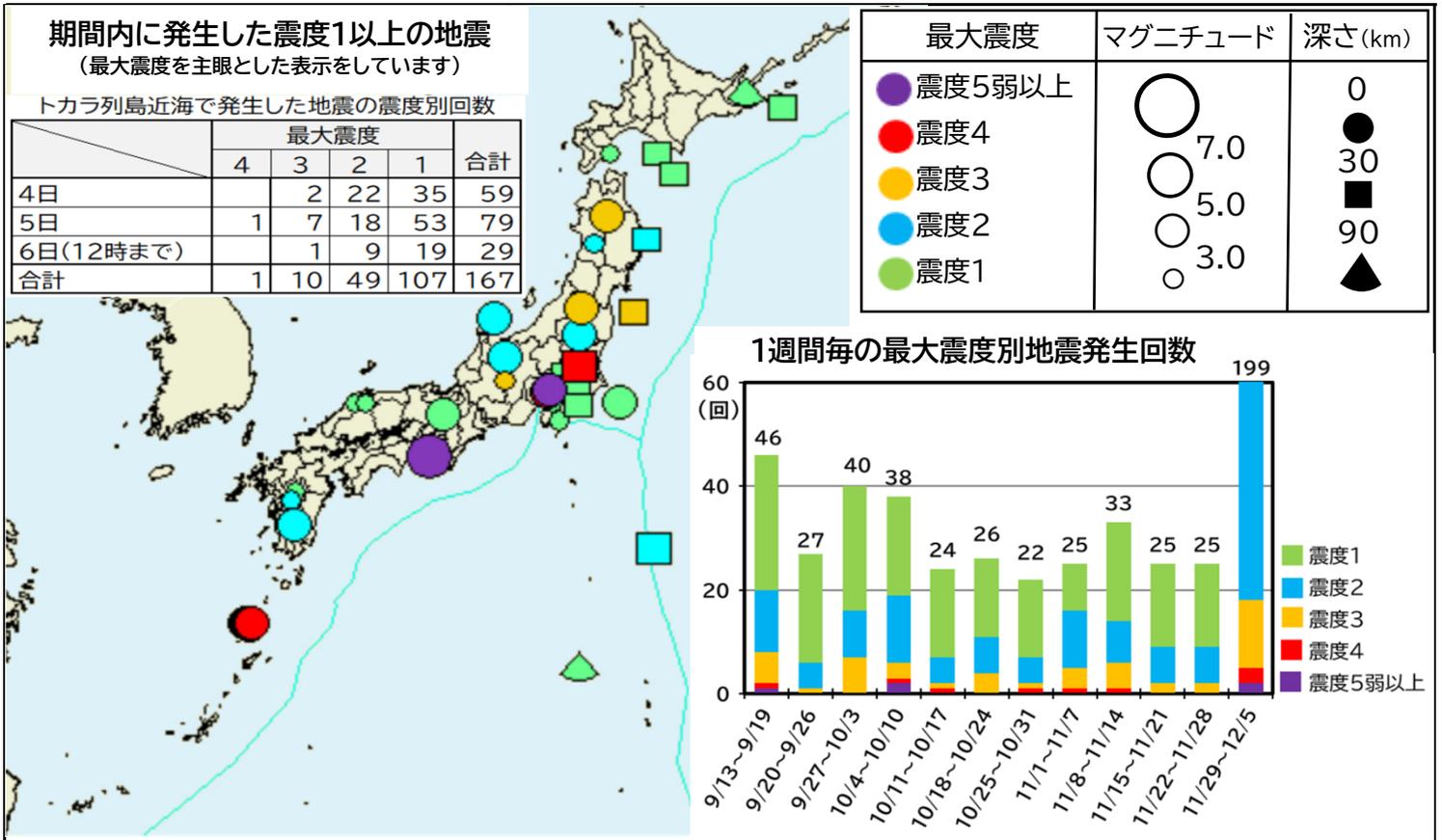


最大震度5弱が2回(山梨東部・富士五湖、紀伊水道)。トカラ列島近海で頻発。

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が199回発生。最大震度5弱の地震が2回。トカラ列島近海では頻発(別紙に図)。
- ◆3日06時37分に山梨東部・富士五湖で発生した地震(M4.8、深さ19km)により、山梨県大月市で震度5弱、神奈川県相模原市・厚木市・松田町で震度4を観測したほか、茨城県から岐阜県にかけて震度3~1を観測。
    - ・この地震は、伊豆半島をのせたフィリピン海プレートが陸側のプレートに衝突していると考えられる地域で発生した地震で、この神奈川県西部から山梨県東部にかけての地域では深さ10~30kmで定常的な地震活動がみられ、M4程度の地震は年に1回程度発生しており、時折M5~6程度の被害を伴った地震が発生したこともある。
    - ・富士山に近いことから富士山の活動が気になる所ですが、火山活動を監視している地震計や地殻変動などのデータに目立った変化は無い。
  - ◆3日09時28分に紀伊水道で発生した地震(M5.4、深さ18km)により、和歌山県御坊市で震度5弱、和歌山県有田市・田辺市・湯浅町のほか、三重県、兵庫県、徳島県、香川県の一部で震度4を観測したほか、中部地方、北陸地方から中国地方、四国地方にかけて震度3~1を観測。
    - ・この地震は、海側のプレートが沈み込んでいる上にある陸側のプレートの内部で起きたもの。震源が浅い地震としては珍しく余震は、ほとんど発生していない。
    - ・和歌山市から御坊市にかけての地域は定常的に地震活動が活発で、短期間に多発することも時々ある。
    - ・1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近でM4.0以上の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は2018年11月2日のM5.4の地震(最大震度4)以来。1938年~1962年にかけて、今回の地震の震央付近ではM6.0以上の地震が時々発生。1948年6月15日に今回のやや東方で発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人などの被害。
    - ・想定されている南海トラフ巨大地震との関係が気になる所ですが規模が大きく異なり、直接影響することはないと考える。
  - ◆4日12時32分から鹿児島県トカラ列島近海で震度1以上を観測する地震が多発している。6日12時までに震度1以上を観測した地震は上の表のとおり167回で最大震度は4。
    - ・この付近の震度観測点は悪石島、小宝島、宝島の3地点あるが、震度1以上を観測しているのは、ほとんどが悪石島のみであるので、震源は悪石島付近と推定される。
    - ・この付近では本年4月10日に発生した地震(M5.3、深さ22km)により、悪石島で震度4を観測したほか、小宝島、奄美市で震度3を観測し、4月下旬まで活発な活動が続いた。また、2000年10月2日に、M5.9の地震により悪石島で最大震度5強を観測した。その後2週間程度活発な活動が続いた。
    - ・屋久島から奄美大島にかけてのトカラ列島の口之島、中之島、諏訪之瀬島、悪石島、小宝島近海は地震活動が活発な地域。
    - ・これら島嶼部の近海で時々発生する群発地震は、火山列上に発生することから火山活動に伴うものと考えられる。悪石島は1万年前以降の火山活動が認められないために活火山に指定されていないが比較的新しい火山島である。
    - ・一方、活火山である諏訪之瀬島からは数十キロ震源が離れており、火山活動を監視しているデータに目立った変化は無い。
    - ・この活動は過去の例から消長を繰り返しながら1~2週間は続く可能性もあるので注意。